

令和4年11月10日  
市民総合医療センター

## 会計検査報告における当院への交付金に関する報道について

(お知らせ)

当院は、令和2年2月のダイヤモンドプリンセス号来港から、多くの重症患者さんを受入れ、以降「神奈川モデル」の高度医療機関として、新型コロナウイルス感染症患者さんの受入れと、これまでの一般診療とを両立し、患者さまや市民の皆さまのご協力もいただく中で、病院をあげてその使命を果たしてまいりました。

今般、会計検査院から政府に対して報告された決算検査報告の中に、病床確保事業における交付金の過大な交付と指摘を受けた医療機関の1つとして当院も公表され、一部のメディアを通じた報道もありました。

当該交付金は、行政からの要請等に応じ、確保した病床に対し補助するものですが、交付要綱等の解釈に相違が生じた期間がありました。このため、会計検査院による検査の前から、補助事業者である神奈川県と相談・調整をし、既に実績報告も修正したところであり、今後返還予定としております。

今般の報道により皆さまにはご心配をおかけいたしますが、当院はこれからも引き続き新型コロナウイルス感染症の診療と一般診療との両立を通じ、地域医療最後の砦の役割を果たしてまいります。

ご理解ご協力をお願いいたします。